



平成 28 年 10 月 14 日

## 「酉年鶏図(干支)記念コイン」予約販売のお知らせ

筑波銀行（頭取：藤川 雅海、本店：茨城県土浦市）は、「酉年鶏図記念コイン」の予約販売を、10月17日(月)より開始しますのでお知らせいたします。

このコインは、平成 29 年の干支である酉年を記念して、オーストラリア・パース造幣局、英国王立造幣局、カナダ王室造幣局、フランス国立造幣局、シンガポール造幣局が製造し、オーストラリア連邦、英国、カナダ、フランス共和国、ブータン王国が発行するもので、100 豪ドル金貨、25 豪ドル金貨、30 豪ドルカラー銀貨、1 豪ドル銀貨 4 種セット、100 ポンド金貨、150 カナダドル金貨、50 ユーロ金貨、1,000 ニュルタムカラー金貨の予約販売を下記のとおり開始いたします。

### 記

#### 1. 販売概要

|   | 種類               | 販売価格      | 数量           |
|---|------------------|-----------|--------------|
| A | 100 豪ドル金貨        | 378,000 円 | 国内限定 400 枚   |
| B | 25 豪ドル金貨         | 108,000 円 | 国内限定 400 枚   |
| C | 30 豪ドルカラー銀貨      | 194,400 円 | 国内限定 200 枚   |
| D | 1 豪ドル銀貨 4 種セット   | 49,680 円  | 国内限定 700 セット |
| E | 100 ポンド金貨        | 399,600 円 | 国内限定 350 枚   |
| F | 150 カナダドル金貨      | 118,800 円 | 国内限定 250 枚   |
| G | 50 ユーロ金貨         | 108,000 円 | 国内限定 250 枚   |
| H | 1,000 ニュルタムカラー金貨 | 108,000 円 | 国内限定 250 枚   |

※いずれも税込価格です。

※各商品はすべて特製ケースと発行証明書を添付します。

※1 豪ドル銀貨はセットでの販売のみです（単品販売はいたしません）。

2. 予約販売受付期間 平成 28 年 10 月 17 日（月）～10 月 28 日（金）

3. お引渡し予定日 平成 28 年 12 月 6 日（火）以降

4. 販売窓口 当行全営業店

以上

|                  |          |    |        |
|------------------|----------|----|--------|
| 報道機関のお問合せ先       |          |    |        |
| 筑波銀行             | 総合企画部広報室 | 檜山 | 内線3730 |
| TEL 029-859-8111 |          |    |        |

商品の一覧

A:100 豪ドル金貨

378,000 円 (税込)

限定 400 枚

品位：99.99% 総重量：31.112g 直径：39.34mm 状態：プルーフ



B:25 豪ドル金貨

108,000 円 (税込)

限定 400 枚

品位：99.99% 総重量：7.777g 直径：22.60mm 状態：プルーフ



C:30 豪ドルカラー銀貨

194,400 円 (税込)

限定 200 枚

品位：99.99% 総重量：1000.100g 直径：100.60mm 状態：未使用



D:1 豪ドル銀貨 4 種セット

49,680 円 (税込)

限定 700 セット

品位：99.99% 総重量：31.107g 直径：45.60mm 状態：プルーフ/未使用



# YEAR OF THE ROOSTER 2017

E:100 ポンド金貨  
399,600 円 (税込)

限定 350 枚

品位：99.99% 総重量：31.210g 直径：32.69mm 状態：プルーフ



F:150 カナダドル金貨  
118,800 円 (税込)

限定 250 枚

品位：75.00% 総重量：11.840g 直径：28.00mm 状態：プルーフ



G:50 ユーロ金貨  
108,000 円 (税込)

限定 250 枚

品位：92.00% 総重量：8.450g 直径：22.00mm 状態：プルーフ



H:1000 ニュルタムカラー金貨  
108,000 円 (税込)

限定 250 枚

品位：99.99% 総重量：7.776g 直径：21.96mm 状態：プルーフ



# YEAR OF THE ROOSTER 2017

## デザインと解説 ＜オーストラリア 表面＞

（金貨/銀貨共通）

女王陛下が信頼を寄せる彫刻家イアン・ランクブロードリーによる女王エリザベス2世の肖像と発行年「2017」、額面、オンス単位の重量、品位が刻まれています。



金貨



銀貨

## ＜オーストラリア金貨 裏面＞

（金貨共通裏面デザイン）

純金のキャンパスに夜明けを告げる鶏が描かれています。その周りを囲むように竹の葉が描かれており、（台湾・香港・シンガポールなどで使われている）中国語で鶏を意味する繁体字『雞』と英語で酉年を表す「Year of the Rooster」、そしてパース造幣局のマーク『P』が刻印されています。

A. 100 豪ドル金貨



B. 25 豪ドル金貨



デザインと解説

＜オーストラリア銀貨 裏面＞

銀貨の裏面には、色鮮やかな羽、立派な尾を携えた逞しい雄鶏を中心に、日の出前に咲き出す朝顔の周りで家族が戯れる様子が描かれています。周囲には（台湾・香港・シンガポールなどで使われている）中国語で鶏を意味する繁体字『雞』と英語で「Year of the Rooster」、そしてパース造幣局のマーク『P』が刻印されています。

C. 30 豪ドルカラー銀貨



D. 1 豪ドル銀貨 4 種セット



① プルーフ貨



② K24 金メッキ/未使用



③ カラー/プルーフ貨



④ 未使用貨

デザインと解説

＜英国金貨＞

裏面には体を包む柔らかそうな羽根、勇ましい尾羽、堂々とした姿勢、植物に囲まれた大地を踏みしめ、夜明けを告げる鶏の姿を刻みました。周囲には漢字で『鶏』と英語で「Year of the Rooster」、そして発行年が刻印されています。表面にはデザイナーであるジョディ・クラークによるデザインの女王エリザベス2世第5の肖像が描かれています。

E. 100 ポンド金貨



表面



裏面

＜カナダ金貨＞

立派な尾羽をゆすりながら優雅に大地を歩く雄鶏の姿が描かれています。今まさに昇ろうとする朝日を見て、新たな一日の到来を告げています。周囲には鶏の繁体字『雞』と英語で「Year of the Rooster」、額面、発行国のカナダ、発行年が刻印されています。表面には、気品あふれる女王エリザベス2世の肖像が刻印されています。

F. 150 カナダドル金貨



表面



裏面

＜フランス金貨＞

裏面には、大きく胸をふくらませ、全身の力を振り絞って鳴く雄鶏の姿と中国語で（中国で使われている）鶏を意味する簡体字『鸡』が描かれています。表面には、イソップ寓話を基にした寓話詩で知られるフランスの詩人ジャン・ド・ラ・フォンテーヌの肖像と名前、額面と発行年、そして彼の寓話詩にも登場する十二支の動物がすべて描かれています。

G. 50 ユーロ金貨



表面



裏面

＜ブータン金貨＞

表面には、朝日に向かって鳴く雄鶏がデフォルメした姿で描かれています。鋭い爪と立派な胸元、堂々とカールした大きな尾が描かれています。裏面には、黄金の頂が美しい白垂のメモリアル・チョルテン（第3代国王記念仏塔）が色鮮やかに描かれています。調和と優しさを表す円を組み合わせたブータン伝統のデザインとなりました。

H. 1000 ニュルタムカラー金貨



表面



裏面

十二支とは

日本においても馴染みのある十二支は、毎年の年賀状やカレンダーなどにデザインされるとともに、自分の干支を迎える人々に幅広く親しまれています。

十二支が作られたのは古代中国で、当時は天文学で数を数えるための言葉（数詞）として用いられていました。その頃の天文学者は12年で天を一周する木星（歳星）の位置を表すのに「子の区分にあるから子年」と言う風に示していたようで、殷の時代には既に使われていたとの事です。

そして、文献に十二支が登場したのが後漢時代の『論衡』で、作者は王充（おういつ）といい、十二支が浸透しやすいようによく知られているネズミや牛などの動物を当てはめたとされます。

六世紀後半の、飛鳥時代の頃には日本にも伝播し、江戸時代にはすっかり定着していたようです。

十二支については中国・日本に限らず、台湾やモンゴル、意外な所ではロシアやベラルーシにも広がっているなど、ユーラシア大陸各地に浸透しています。

2017年は酉年

繁栄のシンボル

酉年生まれの人々の長所は、頭の回転が早くバランス感覚が優れているところです。鶏は、武士が備えるべき5つの徳を備えていると言われていました。5つの徳とは、知・信・仁・勇・厳です。洞察力に優れ、細かいところにも良く気がつきます。客観的にものごとを見て判断ができ、論理的です。

縄張り意識、闘争本能が強いのも鶏の習性。鶏の祖先・野鶏は戦鶏用に東南アジアから世界に広がったといわれ、各地では夜明けを告げる勇気ある鳥として神聖視されていきます。古代ペルシアでは闇を追い出し、悪から善を守るシンボル。中世のヨーロッパでは、悪魔を払う太陽の象徴として教会の塔に風見鶏をつけました。日本の古い伝説では、天の岩戸に隠された天照大神を外に誘い出し、世界に光を取り戻そうと鳴かせた「長鳴鳥」がまさに鶏。この話にちなみ、神前の鳥の止まり木として神社に鳥居が置かれていたといわれます。伊勢神宮では「神鶏」と呼ばれ、境内に放し飼いされています。